

木材ニュースレター

(財)日本木材総合情報センター

TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(23年11月分)

1. 調査実施期間 平成23年 10月20日～11月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。

11月分の回答企業数は38社、回収率は90.5%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = {(「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合)} ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		23/11月	12月	24/1月
仕入動向	国産材	-3.4	-6.9	-25.0
	外材	-13.9	-15.3	-18.6
販売動向	国産材	-10.0	-16.7	-21.7
	外材	-12.9	-14.3	-20.0
在庫動向	国産材	-6.9	-8.6	-15.5
	外材	-12.9	-17.1	-17.1

仕入れは、国産材、外材ともマイナス基調だが、特に国産材が正月に向けマイナス幅拡大。
販売も国産材、外材ともマイナス基調で、正月に向けマイナス幅拡大。
在庫は、国産材、外材とも先行き不透明のためマイナス基調で推移。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	23/11月	12月	24/1月
スギ正角(グリーン)	-2.6	0.0	0.0
スギ正角(KD)	-2.5	2.5	0.0
ヒノキ正角	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ正角(現地挽)	-4.5	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	-2.6	-2.6	-5.3
北洋アカマツタルキ(現地挽)	-11.4	-4.5	-2.4
ホワイトウッド集成管柱	-26.3	-7.9	-2.6
レッドウッド集成平角	-11.8	-5.9	-2.9
型枠合板(輸入)	-26.3	-13.2	-2.6
針葉樹構造用合板	-21.1	-21.1	-13.2
針葉樹構造用合板(厚物)	-5.9	-14.7	-6.3

スギ正角(グリーン、KD)は小さなマイナスが改善され、正月に向けほぼ保合いに、ヒノキ正角、土台は横這い。
米ツガ正角(現地挽)、土台角、割物ともやや弱含みないし横這い。
米マツ平角は、小さなマイナスで、やや弱含み。
北洋アカマツタルキは、やや弱含み。
WW集成管柱、RW集成平角とも弱含みだが、正月に向けマイナス幅縮小。
合板は、国産、輸入ともマイナス基調も、正月に向け、厚物以外はマイナス幅縮小、輸入物は保合いに。

J

1. 荷動き	
仕入れ動向	<p>米マツ一般材丸太は、米材 10 月積み値が前月に続き若干アップ、カナダ材 FAS も出材減からセコンドグロスで保合、オールドは現地在庫なく強保合いで推移。中国の買いは、国内在庫増で一般状態となっているものの、白系丸太に関しては、積極的な買いを続けている。(東京：米材問屋) 米材は入荷が月一で色物はほとんど入らず持ちこたぶさた。(東京：米材問屋) スギの仕入れは納期がかかる。(東京：集成材等問屋)</p> <p>11 月は仕入、販売とも横ばい。1 月のセールに向け 12 月より入荷増。(東海：外材問屋)</p> <p>為替は円高だが、産地も強いため保合い。(東京：南洋・中国材問屋) ラワン類の原木の出材があり、来月からは製品の入荷が見込めそう。(東京：南洋・中国材問屋) 産地の原木事情は増加気味、これからは入荷が多少増えそう。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>仕入れ価格は下がっていない。(東京：国産材問屋) 荷余り感が出ており、出荷ペースも細かく現状確保のため補う程度。(東京：国産材問屋) メーカーではスギ羽目板の注文が増えている。(東京：国産材問屋)</p> <p>仕入れ、販売とも低調。(東京：仲買・小売) 必要以上の在庫・仕入れはしない。(東京：仲買・小売)</p> <p>全般に価格安定。(大阪：仲買・小売)</p>
販売動向	<p>当用買のため細かい引合いばかり。(東京：米材問屋) 米マツ一般材丸太は京浜マーケットでは内陸部中小メーカーの動き一段と落ち込み、一部メーカーでは米マツから内地スギ製材へと切り替えている。(東京：米材問屋)</p> <p>米ツガ、米マツとも KD 材の引き合い良かった。(東京：外材問屋) 10 月は予想以上に売上げがあがったが、11 月からは落ちると思われる。(東京集成材等問屋)</p> <p>荷動きの悪さと超円高で WW も少し弱くなりそう。(東海：外材問屋) 1 月の販売増を見込む。(東海：外材問屋)</p> <p>見積もり多いが価格面で厳しい物件多い。産地上昇分を円高為替で相殺。(東京：南洋・中国材問屋) 各店は在庫が非常に少なく、しばらくは販売増えると思われる。(東京：南洋・中国材問屋) まとまった仕事が少ない。ラワン類はまとまった入荷があればバンドル売りができるため荷動き回復すると期待。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>仕事の出方が細かく、件数若干増加気味であるが、ロット小さく数量まとまらない。(東京：国産材問屋) 年末に向かい需要は先細りの懸念あり。(東京：国産材問屋) 注文材の動きが良い。(東京：国産材問屋) スギ小割の動きが良い。(東京：国産材問屋)</p> <p>複数の工務店に動きが出ており、単価厳しいが荷動き良好。(東京：仲買・小売) ハウスメーカー、ビルダーの好調は聞かぬが我々のルートの地場工務店ではあまりいい話は聞かない。(東京：仲買・小売) 国産材スギ、ヒノキの指定物件がなくなり外材下地材の動き中心。(東京：仲買・小売)</p> <p>例年忙しくなる月だが今年は荷動き悪く異常。(東海：仲買・小売)</p> <p>分譲住宅は売れ行き悪く、仕事も暇。(大阪：仲買・小売) 全般に価格安定。(大阪：仲買・小売)</p>
在庫動向	<p>ほとんど在庫が無くなりやる事がない。(東京：米材問屋) 京浜港へは 10 月に本船入荷があり、旧材と合わせ問屋の手持ち在庫は大幅増加。(東京：米材問屋)</p> <p>在庫は現状水準を増減させず維持。(東京：集成材等問屋) 在庫は 12 月がやや増加。(東海：外材問屋)</p> <p>アカマツ FJL の在庫目立つが、今後の入荷は絞られると思われる。ラワン類の在庫は相変わらず少ない。(東京：南洋・中国材問屋) 全体的な入荷量は少ないままで欠品も有るが、遅れていた契約分が今後、入ってくると思われる。(東京：南洋・中国材問屋)</p> <p>全体に減少、先行き不透明のため在庫積み増しはできない。(東京：国産材問屋)</p> <p>在庫やや減少。(東京：仲買・小売) 在庫は外材の方が多い。(東京：仲買・小売)</p> <p>全般に価格安定。(大阪：仲買・小売)</p>
2. 価格動向	
スギ正角	<p>グリーン材の在庫は無いに等しい。(東京：国産材問屋) 構造材スギ KD の出荷細かく、小ロット、先行き不透明、産地では荷余り感が強い。(東京：国産材問屋)</p> <p>この先強いとの声多い。(東京：仲買・小売) 相変わらず相場は弱含み。(東京：仲買・小売)</p> <p>価格は安定。(大阪：仲買・小売)</p>
ヒノキ正角 土台角	<p>ヒノキ材の流通は極端に鈍く、土台は米ヒバ注入がほとんどで、ヒノキ材は減多に引き合いが無い。(東京：国産材問屋) 変化なし。(東海：外材問屋) 価格は安定。(大阪：仲買・小売)</p>
米ツガ	<p>仕入れ、販売とも価格に変化なし。(東京：外材問屋) 変化なし。(東海：外材問屋)</p> <p>価格は安定。(大阪：仲買・小売)</p>
米マツ平角	<p>ほぼ横ばい傾向、一部商品で少々値下がり。(東海：外材問屋) 価格は安定。(大阪：仲買・小売)</p>
北洋アカマツ ツタルキ	<p>横ばい。(東海：外材問屋) 価格は安定。(大阪：仲買・小売)</p>
WW・RW 集成材	<p>荷動きの悪さと超円高で WW も少し弱くなりそう。(東海：外材問屋) ピーク時に比べやや下落、12 月以降安い輸入品が入荷し、国内産も下落傾向、使用量もやや下落と予測。(東海：外材問屋)</p> <p>WW 柱は横這い、RW 中断面は下げ。(東京：集成材等問屋) 全体に弱いか横ばい。(東京：仲買・小売)</p> <p>WW の 3m、4m 割物は 3,000~4,000 円/m³ ダウンの大幅値下がり。(大阪：仲買・小売)</p>
合板	<p>高値横ばいも、輸入品との価格差ある。輸入品も在庫多く国内産も下がると予測。(東海：外材問屋)</p> <p>輸入合板は針葉樹と差が無くなり、針葉樹も値が下がってきた。(東京：仲買・小売) そろそろ下げ止まりと見るが、反発の様子見えない。(東京：仲買・小売) 活発でなく低調に推移。(東京：仲買・小売)</p> <p>ほぼ全厚みで下落気味。(大阪：仲買・小売)</p>